

令和6年度 9月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	14回
2	延べ従事補導委員数	53人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	人



9月の活動日誌から

9月2日(月) 3班(O・C) 記

巡回経路 大型ゲームセンター → ネットカフェ → ゲームセンター → 仙祿湖公園
→ 久保田公園 → パチンコ店

活動の様子

「涼しくなったのか?」と思いきや「ああ、まだまだ暑いんだな」と思い出すような一日でした。初めに訪ねたゲームセンターは、人も少なく2組の親子連れや、大人のみで来られた方がゲームを楽しんでいました。この日は2か所のゲームセンターに行きましたが、最盛期と比べ、来客数の減少を実感し、やはり現代は、スマホやオンラインゲームに移行しているのだとしみじみ感じました。ネットカフェやパチンコ店では、従業員の方から青少年の非行を未然に防ぐため、どのような気配りや努力をされているか、お話を聞くことが出来ました。オンラインの時代でも目を配り、声をかけることのような基本的な対策は、大切なんだなと思いました。

9月3日(火) 10班(S・T) 記

巡回経路 生涯学習センター → 原公園 → 城山公園 → 泉団地内公園 → 泉児童館
→ 生涯学習センター

活動の様子

曇りで暑くなかったこともあり、公園に子どもが多くいました。城山公園では、放課後デイサービスの子どもたちがスタッフと虫捕りに来ていました。泉団地では、団地内の小さな公園で小学生が遊んでいました。子どもたちに声をかけるとみんな素直に会話に応じてくれました。生涯学習センターでは、子どもたちが親のおさがりのスマートフォンでゲームをしていました。やはり、皆で集まるとゲームをすることが多いようです。

9月4日(水) 5班(I・A) 記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク → 佐久平駅
→ 大型スーパーゲームコーナー2か所 → 大型スーパー内フードコート

活動の様子

台風10号は、熱帯低気圧に変わり、被害もなく安心した。今日の巡回の時は、

ようやく秋の風で心地よいくらい。市民交流ひろばは、数組の親子連れの姿が見られ、小学生もきれいに整備された芝生の上で野球をしていた。ミレニアムパークでもバスケをする子、スケボーをする青年など、楽しんでいる様子がみられた。駅に向かう途中、サドルのない自転車があった。佐久平駅構内もゴミ等もなくなり、利用する人も気持ち良いと思う。大型スーパーに行く途中、自転車の子供用ヘルメットが落ちていたのでよく見える場所に置いてきた。大型スーパー内のゲームコーナー2箇所を巡回した。数人の子に声かけをしたが、特に問題なく、フードコートへ移動した。前回よりも人数が多く、ほとんどが高校生であり、数人単位でグループをつくり、宿題をする様子がみられた。特に問題なく巡回を終えることができた。



9月5日(木) 学校訪問(地球環境高校)

15班(T・R) 記

概要

通信制高校である地球環境高校の学校訪問をさせていただいた。学習システムは、入学生徒選択による「週1日型、週3日型、年間10日の集中型」があること。いずれを選択したとしても「レポート提出や前・後期2回のテストを受ける」がなければ、単位修得に至らない。従って個々の生徒への日々の緻密な働きかけを行い、単位の修得を目指しているとのお話があった。入学する生徒は、小中学校の頃より不登校傾向の生徒が多かったが、このところ、中途転学の生徒も増えてきているとのこと。このような多様な生徒の受け皿としての使命をもち、学力充実により配慮し、将来への進路選択の幅を広げるよう、教職員一同、より努力していきたいとお話もいただいた。生活指導の充実と学力保障を目指し、個々の生徒の実情に応じた全人教育の追究をより期待したい。



9月6日(金)

17班(I・K) 記

巡回経路 臼田交番 → 下の宮公園 → 臼田児童館 → 臼田小学校 → 稲荷山公園
→ 臼田交番

活動の様子

下の宮公園に人影は見当たりませんでした。今夏の猛暑以前は、野球を楽しんでいる子どもたちが数人いたのですが、やはり全国的な暑さの影響でしょうか。臼田児童館には20人ほどおりました。いつもは30人前後、来館されるとのことですが、皆、元気に遊んでいました。夏の時期は8～18時まで開館しており、お弁当持ちで来る子もいるそうです。臼田小学校のグラウンド辺りは、数人の下校と見られる子どもがいただけでした。稲荷山公園には家族連れが3人おり、滑り台では、はだしで遊び、休憩していました。ここは、芝の手入れ等が行き届いており、素晴らしい環境です。もっとたくさんの方に利用していただきたいなと思いました。

9月9日(月)

11班(T・T) 記

巡回経路 生涯学習センター → 中嶋公園 → 原公園 → 城山公園
→ 取出ふれあい公園 → 生涯学習センター

活動の様子

残暑が厳しい日だったこともあるかと思いますが、公園で遊んでいる子は少なかったです。自転車に乗る子、スケートボードに乗って遊ぶ子がいましたが、その中の数人がヘルメットを着用していませんでした。その子らに「ヘルメットはちゃんと被ってね。」と声かけをし、返事を得ました。

9月10日(火)

4班(K・M) 記

巡回経路 大型ゲームコーナー → 大型スーパー蓼科口 → フォレストモール
活動の様子

本日の街頭補導活動は、2人の補導委員の方が所用で欠席したので専門補導委員との2人で行った。集合場所の大型ゲームセンターは、大人の客が数人いただけで、児童や生徒等の姿は見られなかった。人出の多い場所で活動しようということになり、佐久平駅周辺で活動することとなった。大型スーパーの蓼科口を出発し、フォレストモールに向かった。ショッピングモール内の大型ホームセンターや公園などを中心に巡回を開始したが、残暑が厳しい中、児童・生徒などの姿はほとんどなかった。砂田公園に若い男女がおり、通常時の公園の様子について伺ったところ「特に問題になるような事例はない」とのことだった。浅間地区内では、人出が多い佐久平駅や岩村田駅周辺での巡回活動の重要性・必要性を改めて感じた。

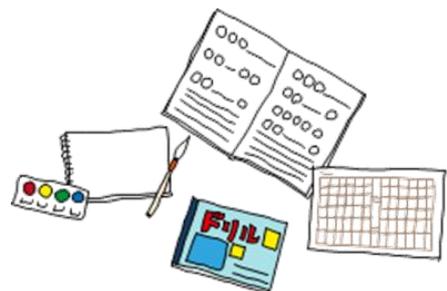
9月11日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 横町公園 → 平賀新町公園 → 水上公園 → 橋場公園
→ 成田公園 → 成知公園 → 中込駅市営駐輪場

活動の様子

雷雨の予報は外れたが、念のため傘を持参して街頭補導活動に出かけた。中込駅では、時間よりだいぶ早く補導委員の皆様が集まっていたいただき、お礼を言って車に乗りこんだ。下校途中の中・高校生を見かけたが、この暑さに閉口した様子で足取りも重い。横町公園、平賀新町公園に人影はない。橋場公園では子ども連れの母親が、木陰のベンチから虫取りをする幼い子どもを見守っていた。成田公園から成知公園に足を伸ばした。成知公園には大勢の子どもの姿があった。中学1年生の3人組は、これから定期テストに備えて、ノートを買っていくと明るく答えてくれた。5年生だという3人の小学生は、持参したエアガンを見せてくれた。試しに撃ってもらおうと、弾丸が勢いよく飛び出した。人に向けて撃たないように伝えたと、素直に応じてくれた。幼稚園から園外保育の下見に訪れたという3人の保育士さんは、広々とした公園を、願ってもない環境だと話してくれた。今年の残暑はしばらく収まりそうもないが、元気な子どもたちの姿は、街頭補導をする私たちには、一服の清涼剤である。



9月12日(木) 学校訪問(野沢中学校) 9・12班(T・H) 記

概要

9月になっても猛暑が毎日続く。野沢中学校の玄関に入ると、生徒たちが廊下を雑巾がけ、清掃中でした。会議室に入ると、学校長、教頭先生、生徒指導主事の先生が対応してくれました。学校から、①学校の概要(生徒数498名、学級数、学校教育目標)②生徒の様子(学習、部活動、生徒会などの様子)、などについて丁寧に説明していただいた。最近は、不登校の生徒が多いとのお話を聞きました。

9月13日(金) 学校訪問(浅科中学校) 18班(Y・K) 記

概要

浅科中学校を訪問し、学校長、教頭先生から学校の概要と生徒の様子についてお話を伺いました。生徒数は150人、教育目標は「志高錬成」(志を高くもち、よりよい成果を得るために、ねばり強く、自分を鍛える。)今は、対話力の向上、学びの転換、地域との交流を重点に、「新たな問いを生み出す探究総合」のなかで、各学年のテーマを「ふるさとに触れる(1年)、ふるさとで学ぶ(2年)、ふるさとへ伝える(3年)」として学習していると伺いました。訪問時は、掃除の時間で、こんにちとはと元気よくあいさつをしてくれました。また、21日に行われる文化祭「清流祭」に向け活発に活動しているとの事でした。

9月17日(火) 1班(M・T) 記

巡回経路 浅間会館 → 紅雲台団地内の公園 → 東児童館 → 浅間会館

活動の様子

9月に入るも今日も残暑が厳しい日となりました。今日は、公園や児童館を巡回しました。紅雲台団地内の公園では、暑い中、元気いっぱい外で遊んでいる複数の小学生の姿がありました。また、東児童館では、元気なあいさつができ、大人ともしっかりした会話ができる児童が多くおり、地域一体で子どもの育成に取り組んでいると感じました。まだ暑い日が続いていますが、子どもの体調にも目を配りながらの見守りが必要であると思いました。

9月18日(水) 6班(K・M) 記

巡回経路 大型スーパー内(2か所のゲームコーナー・フードコート等店内一帯)

活動の様子

大型スーパーに集合し、活動を開始しようとした途端、雷鳴が轟くとともに大粒の雨が降り出し、専門補導委員の判断で大型スーパー内を巡回することになりました。2か所あるゲームコーナーとフードコートエリアを中心に巡回しました。見かけた青少年に声かけを行ったり、様子を伺ったりしました。外が雷雨のせい、屋内の大型スーパー内は想像以上に人出が多いように感じました。小学生から高校生の児童生徒、小さい子どもを連れた『ママ友』と思われる女性グループなど、それぞれが思い思いのことをしていましたが、特に問題となるような行動は見受けられませんでした。

9月19日(木) 学校訪問(東小学校)

8班(N・H) 記

概要

東小学校を訪問しました。玄関に入った途端、玄関先の廊下に移動式の黒板が置かれているのが目に入りました。黒板には、学校訪問に来た私たち補導委員の名前のほか、訪問を歓迎する言葉がきれいな文字で書かれておりました。先生方のご厚意に感謝の念に堪えませんでした。学校訪問では、校長先生からのごあいさつ、教頭先生からの学校の概要や生徒の様子等について、きめ細かく、ていねいな説明をしていただきました。『豊かな心をもちよく考え自分の力で生きぬく子ども』の教育目標のもと、今年度は『つながろう』『考えよう』『きたえよう』を重点に特色ある学校づくりに励んでいるとのことでした。中でも、見守り隊・PTA交通当番などの安全ボランティア・読み聞かせ・託児ボランティア・花壇ボランティア等の活動をしている『東の子応援団』があり、地域の方との連携を深めていると説明がありました。今回の学校訪問で地域に住む者として、地域の子どもが健やかに育つよう思いを深める貴重な体験をさせていただきました。

9月24日(火)

14班(K・M) 記

巡回経路 中込駅 → 南部交番 → 成知公園 → 中込児童館 → 成田公園
→ 橋場公園 → 水上公園 → 平賀新町公園 → 佐久総合運動公園

活動の様子

「昨日までとは違い、風が冷たくなってきたね」等、気候の話をしながら街頭補導活動を始めた。南部交番を訪問し、所長さんから最近の少年の様子などをお聞きし、日ごろの活動に対してのお礼をした。成知公園では、男女の児童が元気よく走り回っていた。四阿(あずまや)に小6の女子児童数人がおり、声かけすると、その中の1名が「前の日曜日の夕方、子どもの遊ぶ声がうるさかったのか、ベンチで寝ていたおじさんが起きだし、怖い顔をして子どもの顔を見ていた。その後、公園内の道を走りだした。変なおじさんだった」と話してくれた。このことは、親に伝えてあるとのことだった。他にも何か所かの公園を回ったが、児童の姿はなかった。

9月25日(水)

7班(Y・M) 記

巡回経路 大型ゲームセンター → ネットカフェ → ゲームセンター
→ 小田井児童館 → 書店 → 大型ゲームセンター

活動の様子

秋を感じさせる涼しい風が吹く巡回でした。大型ゲームセンターでは、小学生から大人まで50人ほどのお客がいました。中には、東御市からの親子がいました。小学生は、声かけに気持ちよく元気に対応してくれました。ネットカフェでは、お客はまばらでしたが、先週の土曜日は「アニソン」の影響を受け、満席だったそうです。ゲームセンターでは、時間帯のせいにお客はひとりもいませんでした。小田井児童館には、23名の児童がおのおのやりたいことをして過ごしていました。伸び伸びと学年を超えたコミュニティになっているようで

した。書店では、セルフレジの普及に伴い、DVD レンタルに少し心配な要素があることに気付きましたが、専門補導員が的確な依頼をしていました。

9月26日(木)

19班(M・M) 記

巡回経路 望月支所 → 望月図書館 → 望月歴史民俗資料館 → 佐久良公園
→ 並木団地内公園 → 茂田井宿 → 茂田井農村公園 → 小平グラウンド
→ 若駒児童公園 → 望月支所

活動の様子

望月図書館には、親子連れ3組が来館していた。司書の方に話しを伺うと、望月中学生が土日に「学生席」を利用することが多いと話されていた。時々、声の大きい時もあるが適宜声かけを行っているとのことだった。望月歴史民俗資料館は、学生等の姿はなく、非行行動は最近ないとのことだった。望月内の公園やグラウンドには、それぞれ親子連れが1～2組ほど来ており、キャッチボールやサッカーを楽しんでいた。若駒児童公園では、小学生2名がロープスライダーで遊んでいた。声をかけると、小学5年生で、自転車に乗って遊びに来ていた。1名はヘルメットをかぶっておらず、注意するよう声かけを行った。17時を知らせる放送が流れると自転車に乗り、帰っていった。



9月27日(金)

2班(I・K) 記

巡回経路 大型スーパー → 駄菓子店 → 新子田八幡神社 → 大型スーパー
→ 鼻顔公園 → 若宮公園 → 大型スーパー

活動の様子

志賀にある駄菓子店さんを訪問。程よい広さの店内は、漫画と駄菓子がぎっしりと並んでいて、とてもワクワクする。中学3年生の男子が3人、学校が早く終わったので集まったとのこと。親や学校の先生でもない大人がゆるく見守る空間で過ごす時間は、とても素敵でうらやましい。その後は、車で近くにある大型スーパーや子どもが集まりそうな公園などを巡回。若宮公園では、小学生が野球をしていた。“こんな風に子どもたちが安心してのびのびと過ごせる場所がもっと増えたらいいのに”と感じた巡回だった。

9月30日(月)

16班(O・R) 記

巡回経路 あいとぴあ → 田口児童館 → 青沼児童館 → 切原児童館

活動の様子

先日までの暑さが嘘のような秋らしい陽気でした。田口児童館では、低学年の児童がぬり絵や読書をしていました。外遊びの時間になり、先生が声をかけると、5人くらいの子どもの勇んで外に出てサッカーを始めました。青沼児童館では、さやか星小学校の児童も利用するようになり、利用者数が増え、多い時には30名以上が利用する日もあったとうかがいました。切原児童館では、楽しそうにブロックで遊んだり、本を読んだりする児童の姿が見られました。帰りがけに低学年の児童が、大きな声で「バイバーイ、気をつけてね」と手を振ってあいさつしてくれました。こちらも手を振って「さよなら、また来るね」と応えると、児童の笑顔がはじけました。

《 9月の活動を終えて 専門補導委員 S・H 》

サバ缶エレジー サバ缶が好きだ・・・った

「サバ缶が好きだった」と過去形になっているのには訳がある。

小学生の頃、いただいた缶詰の詰め合わせの中に、魚の絵が描かれた缶詰を見つけた。その中の一つは鮭水煮、もう一つは鯖水煮。鮭水煮缶のおいしさは、私の脳裏にしっかりと刻まれた。一方で、鯖の方は・・・。生臭くてなんともなじめない味であった。

中学1年生の学校行事で、キャンプに出かけた。荒船山の景色が記憶に残っているので、内山牧場のキャンプ場だったのかもしれない。夕食の飯ごう炊飯で、カレーライスを作ることになっていて、具材の肉の代わりに、なんとサバ缶が代用された。高原で食するサバカレーは、一気にサバ缶の評価を高めた。家に帰っても、カレーにサバ缶を使うように母にせがんだ。

さらにサバ缶の評価を爆上げしたのは、就職してしばらくしてのこと、先輩のお宅に誘われたときの事である。奥さんの手料理が並ぶ中、是非これをと勧めていただいたのが、「根曲がり竹とサバ缶のみそ汁」。根曲がり竹は、北信地方では有名な食材で、奥様が志賀高原まで出かけて採ってきたものかどうかだった。そういえば、根曲がり竹を採りに出かけて、迷子になったという話を聞いたことがあったが、当地では大人気の山菜であると聞いた。勧められるがままに、椀に盛られた「根曲がり竹とサバ缶のみそ汁」をすすると、目を丸くした。根曲がり竹の食感が素晴らしい。そしてサバ缶。食レポをするつもりはないが、素晴らしいマッチング。キング・オブ・ソウルフード。

その日以来、サバ缶が気になるようになった。サバ缶を手にとって眺めたり、時には買ってみたいもした。とにかくサバ缶は安かった。となりのサケ缶に未練はあったが、サバ缶の圧倒的なコスパにはかなわない。しかも、食べてみるとまずくない、というより味わい深い。皿に移し、少々醤油を差したり、大根おろしを加えると立派な一品料理に変身した。しかもサバ缶が優秀なのは、サバ缶を食材に使った料理が山ほどあることだ。キノコ、トマト、ダイコン、キュウリ、タマネギとさまざまな野菜を使ったレシピが簡単に手に入る。

サバ缶最高！！と叫びたいのだが、最近その状況が少し変わってきた。「サバ缶高いぞ。サバ缶ないぞ。サバ缶って、いつも山積みで売られてたし、1缶100円だよね。」庶民の味方サバ缶も、この物価高には抗えないのか。食品売り場の広告に「本日の安い値 さば水煮 269円」目を疑った。調べてみると、こうしたサバ缶市場の変化は、ノルウェーの漁獲量調整により、日本産の小型サバのアフリカ諸国への輸出が増大したことにより、サバ缶用原材料の値段が上がり、さらに「サバ缶ブーム」も相まって、サバ缶の値段が高騰したという図式のようなのだ。「サバ缶・・・カムバック！！」

食料品の買い物のお供をした。食材の値段が上がっていることを嘆きながら、食材の一つ一つを手にとって確かめ、買い物かごに入れる妻を横目に、高価なサバ缶の前で立ち止まった私は、少し躊躇したが、すかさずサバ缶に手を伸ばすと、買い物かごの片隅にサバ缶を忍ばせた。今宵の酒の肴は、サバの水煮タマネギのスライス添えを所望することに決めた。